

平成29年6月28日
東海旅客鉄道株式会社

N700Sのデザインについて

平成32年度に営業投入を予定している「N700S」のデザインを決定しましたのでお知らせいたします。なお、このデザインを反映させた「N700S確認試験車」は平成30年3月に完成します。

1. 先頭デザイン（別紙1）

- ・ N700シリーズの形状を進化させた「デュアル スプリーム ウィング形」
小牧研究施設における技術開発の結果、左右両サイドにエッジを立てた形状とし、走行風を整流することで更なる環境性能向上を図っています。
- ・ 前照灯にLEDライトを新幹線で初採用
LEDの採用により、省エネルギー化・照度向上・長寿命化を実現します。また、先頭形状を活かし、前照灯を拡大することで、照射範囲を広げ、視認性向上を図っています。
- ・ 新しい形状に相応しい車体デザイン
東海道新幹線の象徴である白地に青帯を踏襲しています。また、先頭部の青帯で“Supreme（スプリーム）”の「S」を表現しています。



N700S 先頭デザイン

2. インテリアデザイン

ビジネスや観光など幅広いお客様ニーズに対応するため、機能性を考慮しつつ、くつろげる空間となるよう柔らかな曲面を採用し、グリーン車では「ゆとりある空間と個別感の演出」を、普通車では「機能的で快適な空間」をコンセプトにしています。

(1) 客室のデザイン（別紙2・3）

- ・ 空調吹出口を側面パネルと一体化し、広い吹出口を確保することにより、室内温度の均一化を図っています。また、グリーン車では窓側の座席ごとに荷棚と一体化した大型の側面パネルを採用し、一人ひとりの空間を演出しています。
- ・ 照明はLED間接照明とし、天井を光学的に最適な形状とすることで、室内照度の均一化を図っています。また、停車駅に近づいた際に荷棚の照度を上げ、お客様に荷棚にある荷物への注意を促します。

車内テロップにフルカラー液晶を採用し、画面サイズを拡大することで、案内情報の視認性を向上します。



客室デザイン（上：グリーン車、下：普通車）

(2) 座席のデザイン

○グリーン車座席

- ・ N700系から好評をいただいている「シンクロナイズド・コンフォートシート」をさらに進化させ、リクライニングの回転中心の変更と共に、座面と背もたれの角度を最適化することで、リクライニング時の太もも裏側への圧迫感を低減するなど、長時間座っていても快適な座席としています。
- ・ フットレストを大型化しつつ、足元スペースを拡大しています。
- ・ 読書灯の照射範囲を拡大しています。

◆リクライニング

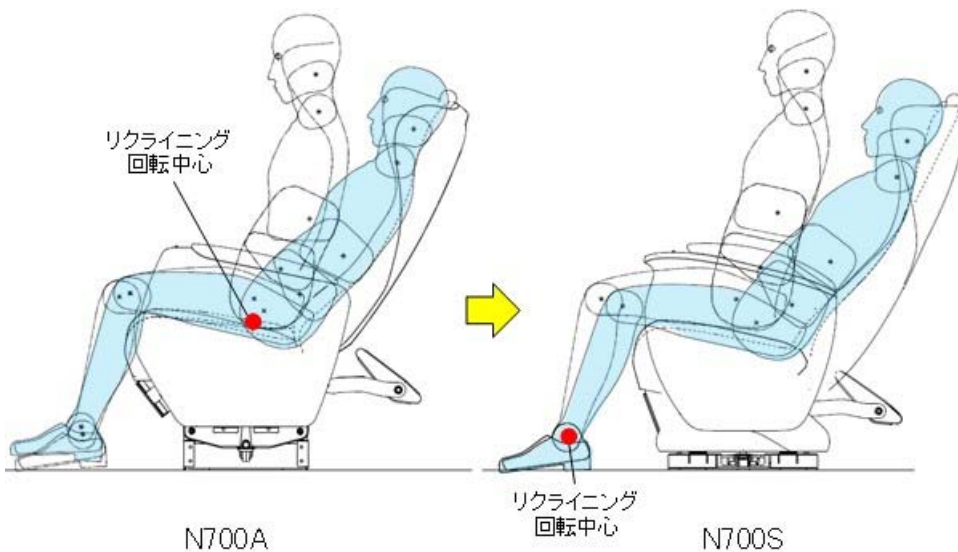
太もも裏側への圧迫感を低減するなど、長時間座っていても疲れにくい「くるぶし」を回転中心としたリクライニング機構を採用

◆読書灯

照射範囲を拡大



グリーン車座席



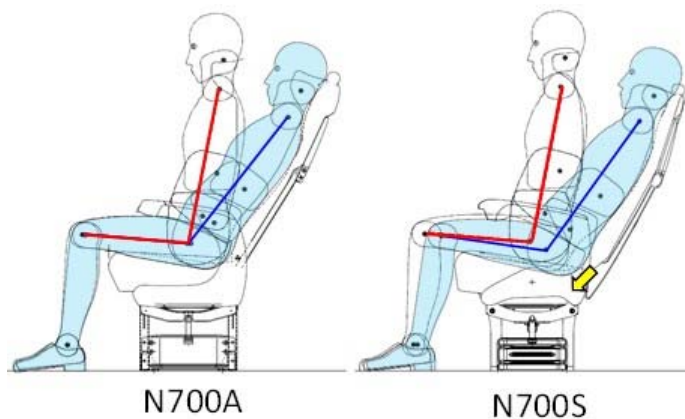
グリーン車座席（リクライニング機構）

○普通車座席

- ・ 背もたれと座面を連動して傾けるリクライニング機構を採用し、より快適な座り心地を実現します。
- ・ グリーン車同様、全座席にコンセントを設置します。



普通車座席



普通車座席（リクライニング機構）

(3) デッキ部について

- ・ デッキは、N700系を踏襲し、曲面形状のパネルを採用しています。
- ・ トイレは壁面の配色を光沢のあるツートーンカラーとすることで清潔感とやすらぎを提供します。また、スイッチ類を集約した操作パネルを採用し、利便性向上を図っています。

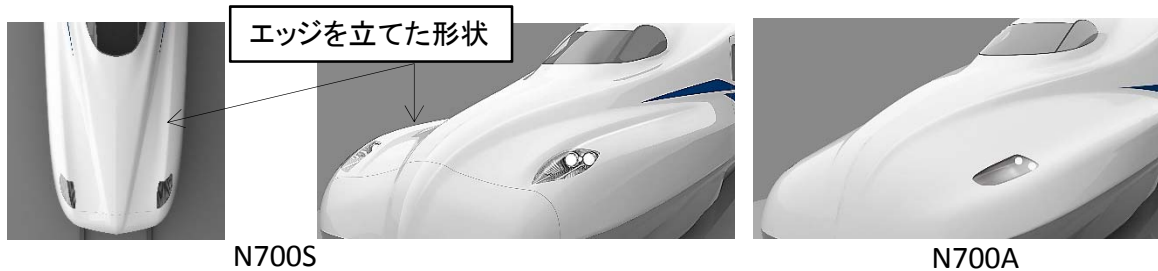


デッキ部（グリーン車）

先頭デザイン

◆先頭形状

左右両サイドにエッジを立てた形状とすることで、走行風を整流し、微気圧波・車外騒音・走行抵抗・最後尾車動揺を低減

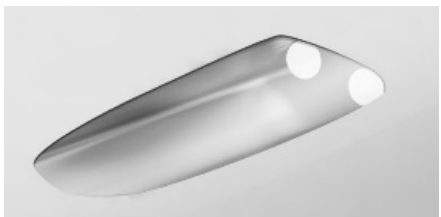


◆前照灯

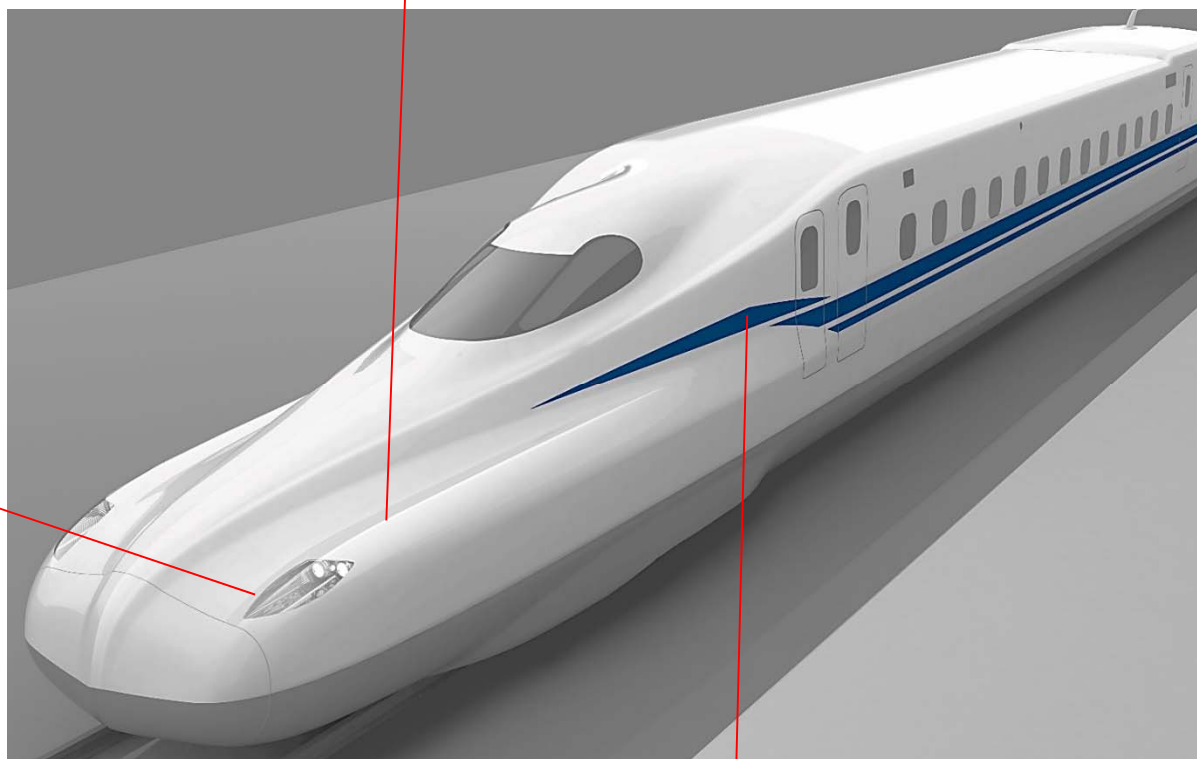
先頭形状を活かしつつ、前照灯を拡大し(+20%)、視認性を向上



N700S



N700A



◆青帯

先頭部の青帯で“Supreme”の「S」を表現



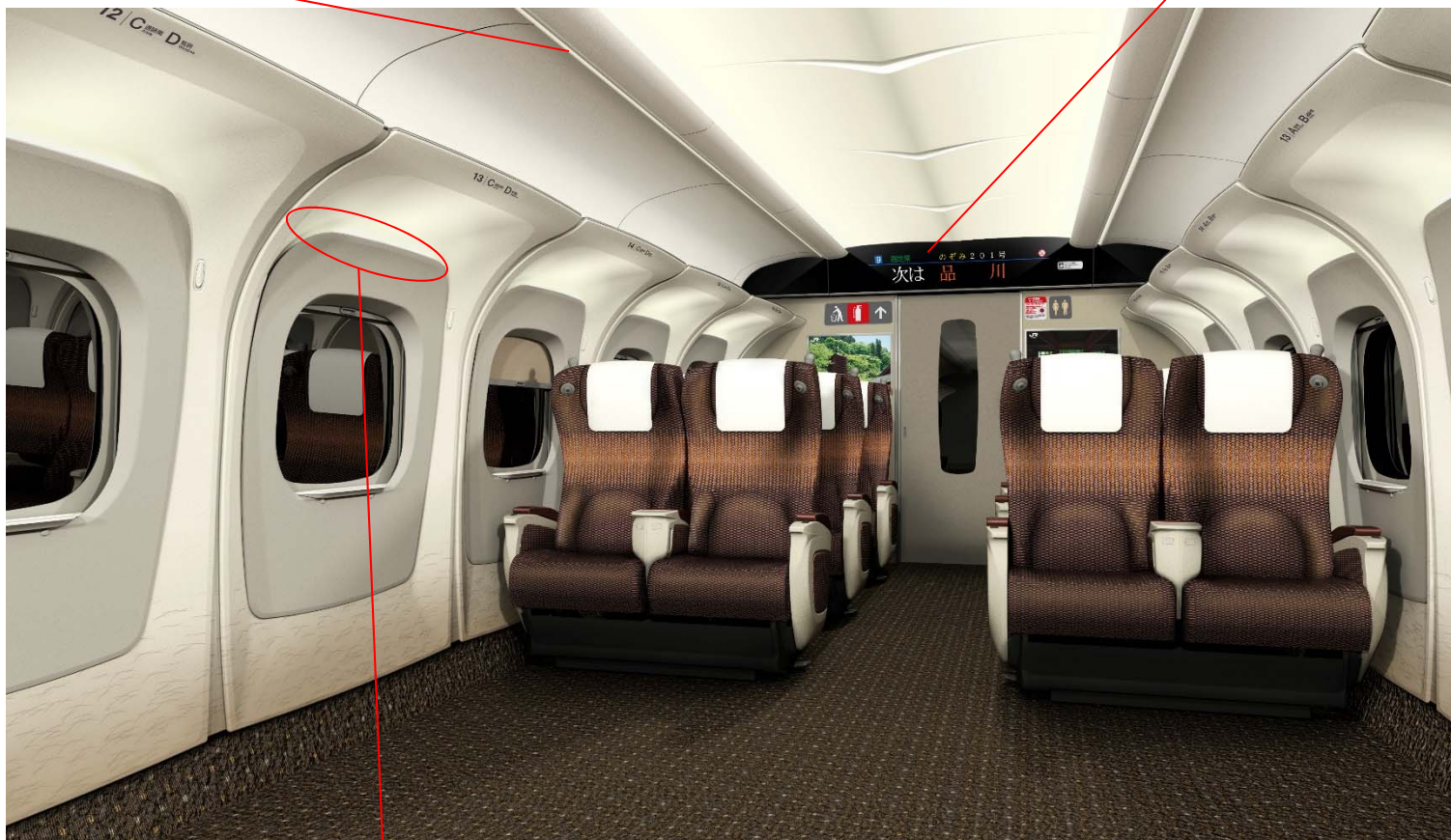
インテリアデザイン(グリーン車)

◆照明

- ・LED間接照明を採用し、天井を光学的に最適な形状とすることで室内照度を均一化
- ・停車駅に近づいた際に荷棚の照度を上げ、お客様に荷棚にある荷物への注意を喚起

◆車内テロップ

- 画面サイズ拡大(+50%)及びフルカラー液晶の採用により案内情報の視認性を向上



◆側面パネル

- ・荷棚と一体化した大型の側面パネル形状により一人ひとりの空間を演出
- ・空調吹出口と側面パネルの一体化により、広い吹出口を確保することで室内温度を均一化

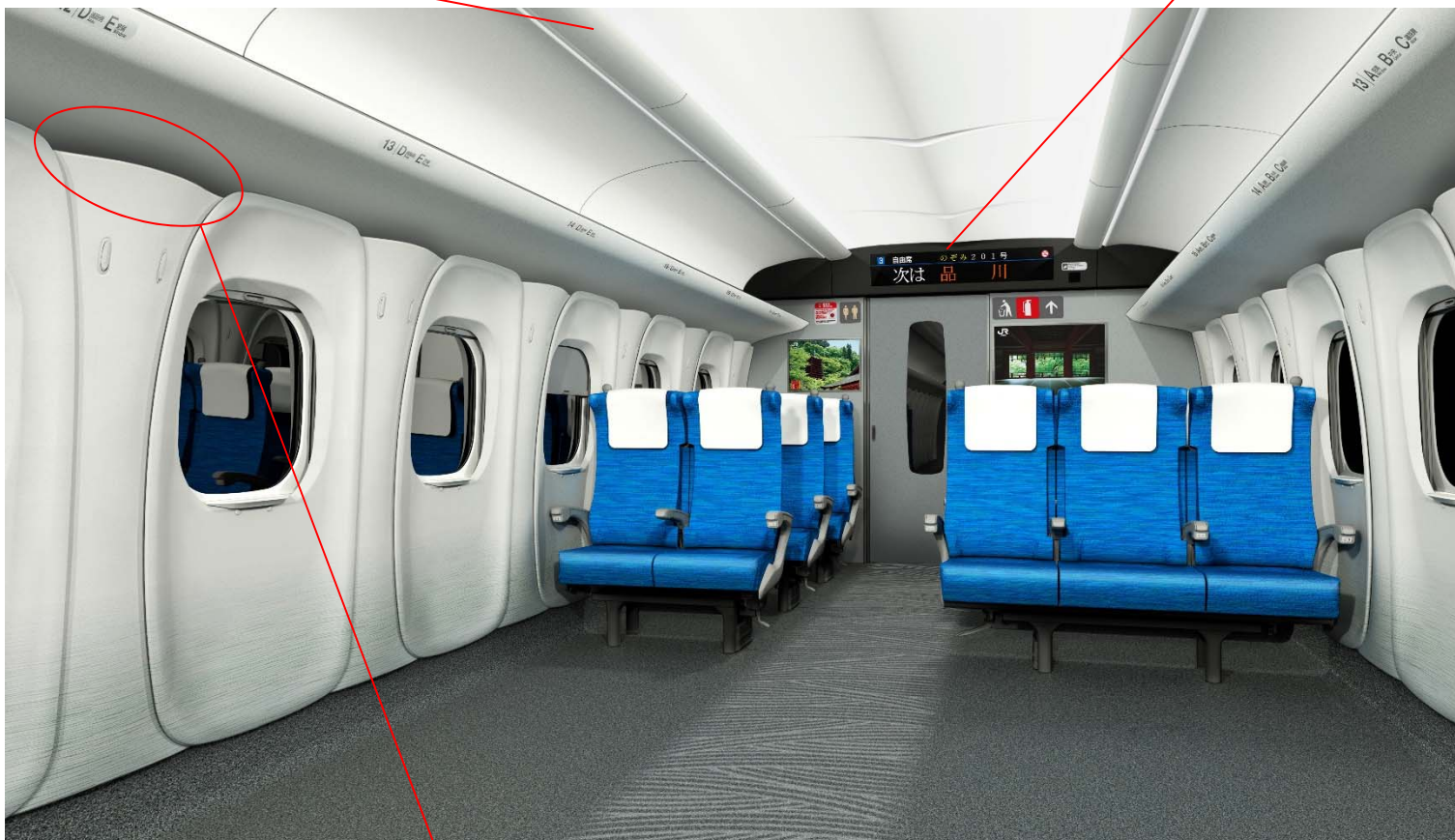
インテリアデザイン(普通車)

◆照明

- ・LED間接照明を採用し、天井を光学的に最適な形状とすることで室内照度を均一化
- ・停車駅に近づいた際に荷棚の照度を上げ、お客様に荷棚にある荷物への注意を喚起

◆車内テロップ

- 画面サイズ拡大(+50%)及びフルカラー液晶の採用により案内情報の視認性を向上



◆側面パネル

- 空調吹出口と側面パネルの一体化により、広い吹出口を確保することで室内温度を均一化